



# 建築物総合環境計画概要書 新築

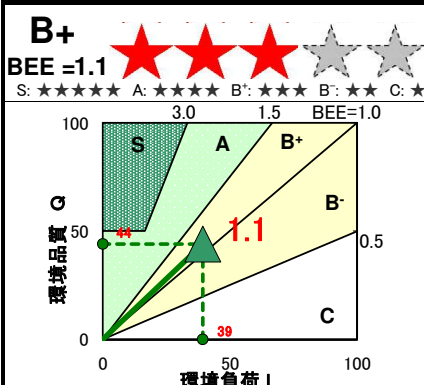
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

## 1-1 建物概要

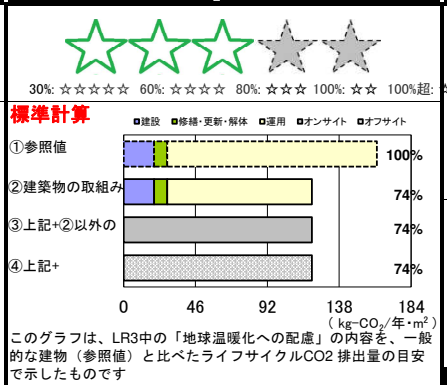
建物名称	(仮称)東成区神路4丁目集合住宅計画 新築工事	
建設地	東成区神路4丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大林新星不動産(株)	
設計者	(株)IAO竹田設計	
敷地面積	1,598.99	m <sup>2</sup>
建築面積	685.10	m <sup>2</sup>
延床面積	5,146.29	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上11階
完了年(予定)	2023年3月	

## 1-2 外観

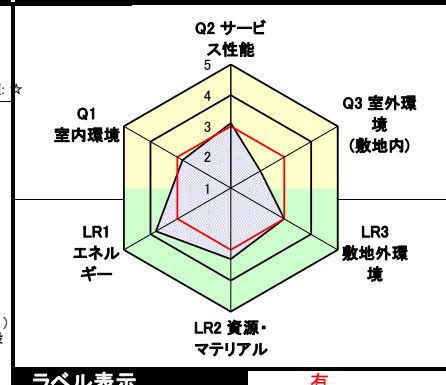
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

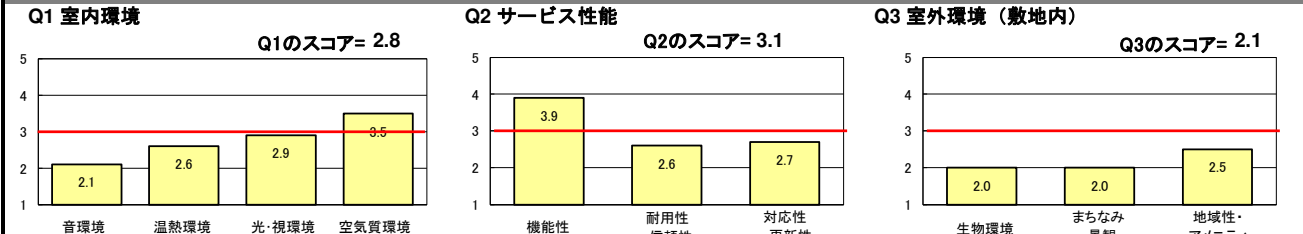


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

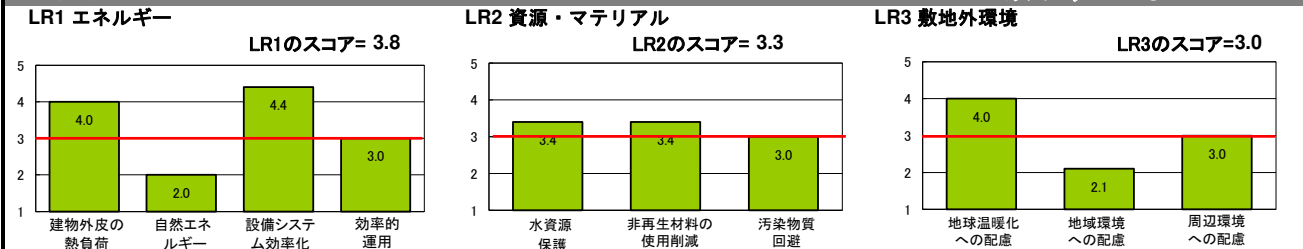


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 周辺建物への圧迫感を最小限に抑えるため、できる限り敷地境界線から壁面を後退させるよう配慮した。南側、西側の道路面及び北側の里道に面した部分に豊かな植栽空間を設けることで快適な歩行空間の創出、プライバシーの配慮及び緑が少ない周辺地域へ自然の寄与を行っている。南西角の人の視線が集まる場所には広場を設け、近隣住民のコミュニティの場となるよう配慮した。シンボルツリーを含む高木を植えることで四季の移ろいを感じることも期待できる。			<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 集合住宅という用途のもと、騒音などに配慮した計画とする。居住空間の質を確保するため自然採光とし、全面的にF☆☆☆☆の建材を使用することで空気環境の向上を図る。	<b>Q2 サービス性能</b> 高度情報通信に対応した建物としている。また、内装計画の十分な検討、居室の天井高を最大限確保することで快適性の向上を図る。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 歩道の整備、植栽の配置等、地域環境の向上に配慮した空間を創造する。	
<b>LR1 エネルギー</b> 主にLED照明を使用し、環境負荷の低下を試みる。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。また、躯体と仕上材が容易に分別することが可能にする等、部材の再利用可能性の向上に努める。	<b>LR3 敷地外環境</b> 住戸数の200%の自転車置場の確保、周辺道路状況を鑑みた位置に適切な量の駐車場を設置等、交通負荷抑制に努めた計画とする。	

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO <sub>2</sub> 削減	4.0
CO <sub>2</sub> 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 4.0
CO <sub>2</sub> 排出量を一般建物と同程度とした。	
配慮事項	特に無し。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 2.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 1.0
配慮事項	敷地内には十分な植栽を計画するだけでなく、有効な風を導くよう建物を配置する計画とすることで敷地内の温熱環境悪化を抑制する。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO <sub>2</sub> 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
住宅性能評価等級4を取得している。	
配慮事項	

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO <sub>2</sub> 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.4
LED照明を採用している。	
配慮事項	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）  
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） <b>等級4</b> (相当)	非住宅部分[BEI][BEIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] <b>0.88</b>	住宅部分[BEI] <b>0.88</b>	非住宅部分[BEI][BEIm] -